

一般財団法人市川市福祉公社

平成 29 年度第 2 回介護・医療連携推進会議 議事録

1. 日 時：平成 29 年 9 月 12 日（火） 午前 10 時 00 分～午前 11：00 分
2. 場 所：市川市福祉公社 ミーティングルーム
3. 出席者 25 名

〔委 員〕

議長 高久 悟
委員 村尾 薫
大賀 真理子（鈴木 靖成 委員より委任）

以上 委員 2 名

〔オブザーバー〕

市川市福祉部福祉政策課 1 名
高齢者サポートセンター市川第一 1 名
高齢者サポートセンター市川第二 1 名
高齢者サポートセンター真間 1 名
高齢者サポートセンター大柏 1 名
高齢者サポートセンター八幡 1 名
高齢者サポートセンター国府台 1 名
高齢者サポートセンター宮久保・下貝塚 1 名
高齢者サポートセンター国分 1 名
高齢者サポートセンター市川東部 1 名
大学准教授 1 名
訪問介護事業所 1 2 名
訪問介護事業所 2 2 名

以上 オブザーバー 15 名

〔事務局〕

常務理事 林 芳夫
訪問介護課長 長尾 容子
当該事業管理者 館山 史陽
計画作成責任者 藤田 健治
司会 市川 奈津子

以上 事務局 5 名

〔欠 席〕

委員 鈴木 靖成（大賀様に委任）
委員 四ツ屋 真由美（高久議長に委任）

以上 欠席 2 名

〔公社職員〕

3 名

以上 公社職員 3 名

1. 開 会

- (1) 事務局より資料の説明を行う
 - ・第2回 介護・医療連携推進会議資料
 - ・定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価表
- (2) 市川市福祉公社常務理事より挨拶
開会にあたり会の趣旨を説明
- (3) 委員等紹介
事務局より、委員等紹介を行う

2. 質疑応答

●サービス提供等状況報告について

<村尾委員>

- ・実績からスタッフ側の対応が大変かと思うが、人員配置に課題等は無いか。
- ・医療ニーズが求められている中で、課題等はあるか。

<事務局>

- ・人員配置については定期訪問の調整やフレックス勤務を活用し調整している。
- ・医療ニーズについては ALS の方への喀痰吸引ニーズ等の相談があるも、現状においては、喀痰吸引を行う事の出来る資格を有した職員が不足している為、サービス利用に繋がっていない。日中の訪問で対応できるよう調整している。

<村尾委員>

- ・喀痰吸引研修の受講や資格取得等、費用負担や付随する人員調整等大変かと思われるが。

<事務局>

- ・喀痰吸引等事業者（特定行為事業者）の登録は済んでいる。不特定多数の者に対する研修（第1号・第2号）について受講する機会を設けるのは難しい。特定の者に対する研修(第3号)を全職員が取得できるよう取り組み中である。

<福祉政策課>

- ・実績に対してヘルパーは何名か。又、受け入れ可能枠は何名か。

<事務局>

- ・正職員7名と非常勤6名で計13名です。受け入れ可能枠について予算上はMAXです。今後ニーズが増えてきて夜間の対応が現状の3名体制だと困難な場合は4名体制にしていくことも考えている。

<高久議長>

- ・相談のルートはケアマネジャーからが多いか？又、ALS の方や喀痰吸引のニーズ以外で相談内容は他に何かあるか。

<事務局>

- ・ケアマネジャーからが多い。他には糖尿病の方に対する時間ごとの服薬確認や骨折後のケ

ース等がある。しかし実際に退院してみたらご自身で出来る事、ご家族で対応出来る事が判り、相談のみの対応となっている。

<高久議長>

・事例について、内服は現在 20 時 1 回のみか。てんかんや認知症もある方で、年齢的にも今後の生活が徐々に難しくなってくると思われるが、サービス提供を継続する上で何か課題はあるか。

<事務局>

・20 時の内服 1 回である。現状、自由に外出しており、ご近所の協力も得られながら生活が出来ている。しかし今後、心身状態が変化する中で、所在確認やインフォーマルサービス等を活用し支援していく必要性について検討していくことが課題である。

●自己評価について

<高久議長>

・項目 5、13、14、15、19 に関して四ツ谷委員からの評価を報告。(外部評価表参照)
・今後ますます他職種連携、ケアマネジメント、地域包括について国が力を入れていく中、当サービスは大きな柱となっていくことが予想される。そのような背景から、項目 22 について、ケアマネジャーとの調整で何か難しい点はあるか。又、この 1 年でサービス内容について発表するような機会はあったか。

・項目 23 について、公社として何か提案等はあるか。

<事務局>

・項目 22 について、日々の連絡調整等に関して特別に困難な事は無い。只、このサービスの導入に関して、繰り返しこのサービスを使って頂いているケアマネジャーからは、サービス内容を把握しているので相談を頂けることが多いが、このサービスを使った事がないとどうしても敬遠されがちになるようで、同じ居宅介護支援事業所の中でも、サービスの特徴を知っているケアマネジャーとそうではない方がいるという話も聞く。まだ利用の無い事業所へのアプローチや利用のある事業所でも自ら出向いて説明する機会を作る必要性を感じている。サービス内容を発表する場に関しては、高齢者サポートセンター様からのお声掛けもあり今年度は計 2 度機会を頂戴する予定である。ぜひ活用させて頂きサービスの周知を図っていききたい。

・項目 23 に関して、認知症の方の介護度は低くなりがちだが、ご自身で外出される機会が多くなるにつれ、リスクは増えて行くだろうと予想できる。記憶障害や見当識障害から、金銭管理や通帳の管理等もままならない状況の中、近所の交番やコンビニエンスストア等の協力は不可欠となってくると思われる。そのようなインフォーマルな資源を最大限活用していく事に関しては今後の課題である

<高久議長>

・次回の改正においても目玉となる事業なので地道な努力になるかもしれないがよろしくお願ひしたい。

<村尾委員>

・項目 8 について、介護ソフトによる情報共有との事だが、PC 作業の得手不得手があると思われるので大変だろうと感じる。

・項目 32 についてネットワーク作りは 1 事業所では難しく、事業内容そのものも分かりづらい中で良くやっていると思う。

<福祉政策課>

- ・全体的にできており素晴らしいと思う。理念ともマッチしており十分なサポートができていると想像する。理念に対応する個々のケースがあれば今後報告してほしい。
- ・項目 32 について、良くやっていると思う。厳しめの自己評価とを感じる。
- ・結果評価について、在宅生活を継続する上での安心感につながっているこのサービスならではのメリットが達成されていることは嬉しい。

●オブザーバーの方々から

<高齢者サポートセンター国府台>

- ・知識不足で分からない中、初めて参加させて頂いた。サービス周知の為に一緒にやっていたらと思う。

<高齢者サポートセンター真間>

- ・このサービスを使った事がないケアマネジャーがいることを理解した。

<高齢者サポートセンター市川第一>

- ・サービス内容について難しく感じていたが、今回出席し相談しやすくなった。

<高齢者サポートセンター市川第二>

- ・事例も具体的でイメージし易かった。利用者一覧を見ても色々な方がいて大変だと思う。今後も利用者ニーズを受け取りながらインフォーマルサービスを展開していきたい。

<高齢者サポートセンター宮久保・下貝塚>

- ・このサービスを使っていないケアマネジャーがいるのはもったいない。周知に関しては高齢者サポートセンターも協力していきたい。インフォーマルサービスに関しても地域ケア会議等で協力していく。

<高齢者サポートセンター大柏>

- ・包括開催の会議などに出席して頂いてご説明をして頂いている。ケアマネジャーへの提案もしていきたい。

<高齢者サポートセンター八幡>

- ・先日の急な依頼に対して対応して頂きありがたい。高齢者サポートセンターは初動対応が多いので今後も連携していきたい。

<高齢者サポートセンター市川東部>

- ・地域資源をまとめているところ。インフォーマルサービスの部分でもご協力できればと考えている。

<高齢者サポートセンター国分>

- ・今後も新任のケアマネジャーがぞくぞく入ってくる中、PR は継続していかなければと考えている。周知に協力していきたい。

<大学准教授>

・このようなサービスをより「知って」頂く為にも、PDCA サイクルを回す中で具体的に「できていること」について「みせる」ことが重要なのではないかと考える。そうすることでよりお客様が付きやすくなるのではと考える。

<訪問介護事業所 1>

・項目 8 について具体的にどのような情報共有をおこなっているか。

<事務局>

・本部とサテライトをつなぐために使用している介護ソフトを活用し、ヘルパーの予定、利用者状況、掲示板等、タイムラインで共有している。どうしても急な場合は紙ベースで送付し、情報共有する。

<訪問介護事業所 2>

・市内 3 事業所がこのサービスに参入となり、更に連携していきたいと考えている。6 月からの定例会で新たな取り組みをしていく事が決まりましたが、情報交換を密に行い、長期的なスパンで関わっていきたい。

3. 閉会

閉会にあたり事務局より挨拶

・次回介護医療連携推進会議予定 平成 29 年 12 月 12 日(火)

上記の通り、委員の方より頂きました、貴重なご意見をもとに今後とも取り組んでまいります。

長時間にわたり、ありがとうございました。

以上

文責：市川市福祉公社
訪問介護課 巡回係 藤田